

【目次】

- 1 宇和島市下波地区の防災訓練について
- 2 えひめ防災キャンペーンに今年もみきゃんがやってきた！！
- 3 「愛媛県防災メール」をご活用ください
- 4 県からのお願い・
えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先



▽「えひめ防災マスコットキャラクター」について詳しくはこちら↓

http://www.pref.ehime.jp/h15350/1185521_1925.html



【1】宇和島市下波地区の防災訓練について

宇和島市立宇和海中学校他で実施した防災訓練について、えひめ防災インストラクターの方から情報提供がありましたので紹介させていただきます。この訓練は下波地区自主防災組織が中心となり、下波公民館と宇和島市危機管理課の共催で企画した訓練で、愛媛県建築住宅課やN T T 西日本、宇和島地区消防の協力により実施したものです。

近い将来、非常に高い確率で発生が懸念される南海地震とそれに伴う津波災害により、宇和海沿岸では大規模な被害が出ると予想されています。このため、事前に災害時の各組織の役割などを再確認し、被害の軽減を図ることを目的として本訓練を実施するものです。

当日は、午前9時00分にマグニチュード9クラスの地震が発生し、約40分後に津波が襲来すると想定し、津波からの避難を開始、津波襲来の前、午前9時30分には高台へ避難が完了することを目標としました。この際に、地震による負傷者の発生を想定し、各自治会で負傷者役の避難者の搬送をあわせて実施しました。

住民の方については以下5点について事前に周知し訓練の際に意識して避難してもらいました。

- ①地震発生時は、自分自身の身を守る。(すぐに外へ出ない。) タンス・窓ガラスは危険。
- ②避難するときは、ガス(災害時は電気ブレーカーも)を遮断し、あわてないこと。
- ③屋根瓦、ブロック塀、自動販売機などに注意する。
- ④津波は6時間以上続く可能性がある。
- ⑤たいした事無いと思っても、近所で声を掛けあって、とにかく避難場所へ移動すること。

また、地域の特性として漁業関係者が多い点が挙げられます。これらの方に対しても避難が必要になりますので、以下の点をお願いしました。

- ①家族から津波警報が出たことを漁船に知らせる。
- ②陸から近ければ、すみやかに上陸し、高台へ移動すること、また沖にいる場合はなるべく水深が深い場所へ行くこと。
- ③少なくとも津波警報が解除されるまで、岸や漁港に近づかない
- ④日頃から、いかだのロープの強度を点検する。

各自治会では、情報班（市役所・自治会各班への連絡、状況把握、避難者確認等を実施）、救出救護班（火災や避難困難者の救出救護を実施）、避難誘導班（各自治会の放送設備を使用し避難の呼びかけを実施）、給食給水班（物資等を準備し、避難場所において炊き出し等を実施）、初期消火班（火災等を発見後、速やかに初期消火を実施）等に分かれ訓練を行いました。

訓練終了後、10時30分より市立宇和海中学校体育館において愛媛県建築住宅課の職員による「住まいの地震対策講座」に関する講演がありました。この中で、阪神・淡路大震災での家屋被害についての話が興味深いものでした。平成7年の阪神・淡路大震災の建築物被害では、昭和56年以前の建築物に被害が集中しました（昭和56年以前の建築物では大破・中破・小破あわせて約65%に対し、昭和56年以降の建築物は約25%にとどまる。）。なぜかというところ昭和56年に建築基準法の改正により、耐震基準の引き上げがあったためです。これは、昭和43年に発生した十勝沖地震（マグニチュード7.9、最大震度5）、昭和53年に発生した宮城県沖地震（マグニチュード7.4、最大震度5）を受け改正されたもので、わが国では、建築基準法上の耐震基準を満たさない建築物は建ててはいけないことになっているためです。なお、現行の耐震基準は震度5強でも建築物は損傷はしません、震度6強になると、損傷はするが倒壊はしないそうです。



講演する県建築住宅課職員ら

講座終了後は各種の体験訓練です。食料供給訓練では、炊飯釜がなくても家庭用の鍋などで小分けに炊飯できる「炊飯袋」でご飯を炊き、おにぎりにして試食しました。その他、救命講習や煙体験、消火訓練や災害時伝言ダイヤルの体験訓練が行われました。準備は手間がかかりますが、みなさん充実した訓練を行うことができました。



袋に米と湯を入れて湯せんして炊飯します
小人数分なら片手鍋でも炊飯できます



賞味期限前の備蓄飲料水と一緒に消費し、無駄を減らします



子供たちもおいしくいただきました



災害用伝言ダイヤルの体験



煙体験ハウスの中は真っ白で何も見えません



水消火器で火点めがけて消火を行います

他のえひめ防災インストラクターの方ももちろん、いろんな方からの情報提供をお待ちしております。

※えひめ防災インストラクターとは…

地域防災のエキスパートとして県が認定している者。本県では自主防災組織の結成率は年々高まっているが、自主防災組織単位で実施する防災訓練の実施率はなかなか上がっていない、そもそもどういう防災訓練を実施したらいいかわからない組織が多い。それらの自主防災組織に対し、防災訓練の仕方を教えたり、防災に関する講話等を実施している。地域防災リーダーとして他者をリードし、指導する人材として期待されている。

【2】えひめ防災キャンペーンに今年もみきゃんがやってきた！！

前回のフジグラン川之江に続き、今回のえひめ防災キャンペーンにもみきゃんが行ってきたけん！！

今回は西条市のフジグラン西条を会場として実施しました。

会場に行くと、前回のキャンペーンでお友達になった愛媛県警マスコット「まもるくん」と、西条市立東予郷土館のキャラクター「カブちゃん」がいたので友達になりました。



キャンペーン会場



せっかくなので子どもたちと一緒に記念撮影。

まもるくんとカブちゃんは、仲良く県の起震車で地震体験をしていました。



起震車に乗って準備完了！



わかりづらいですが東日本大震災の揺れを体験しています

会場には他にも、子供用の防災衣の試着コーナーや、ミニ消防車「消ちゃん号」の試乗体験、大型車両の展示や土砂災害3Dシアターなど目白押しのキャンペーンになりました。



子供用の防災衣ですがブカブカですね（笑）



実際に救急車の中に入って説明を受けます



子供たちもAEDに興味があるようです



3Dシアター内部（1上映約5分）



「消ちゃん号」に乗車体験
(ナンバーが119です)



みきゃんは大きすぎて乗れませんでした（泣）

「次回のキャンペーンはどこだろう？楽しみにしとるけん！」
子供たちの愛顔に包まれて大満足のみきゃんなのでした…。

【3】「愛媛県防災メール」をご活用ください！

県内に対する防災情報をお手持ちの携帯電話やパソコンに電子メールで配信する「**愛媛県防災メール**」を提供しています。**どなたでもご利用いただけます**のでぜひご登録ください。愛媛県ホームページで詳細な内容をご覧ください。

▼詳細についてはこちら↓

<http://www.pref.ehime.jp/bosai/bosaimail.html>

▼配信情報

地震情報、津波情報、警報・注意報、土砂災害警戒情報、河川洪水予報、週間天気予報、国民保護情報、その他お知らせ

▼登録方法

インターネット接続できる携帯電話やパソコンで仮登録用サイトにアクセスし、表示に従って登録してください。

<https://www.taisakuhonbu.com/bosaimail/ehimepref/>



▼注意事項

無料をご利用頂けますが、通信に要する費用（パケット料）は、ご利用される方の負担となります。

▼お問合せ

愛媛県県民環境部防災局危機管理課防災情報係

TEL 089-912-2318

Mail kikikanri@pref.ehime.jp

[4] 県からのお願い・えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先

県では、みなさんの地域の防災に関する取り組みを紹介し、自主防災組織の活性化を図りたいと考えています。

あなたの町の防災の取り組みなどについて、教えてくださいね。

▼募集内容

- あなたの町のユニークな防災に関すること（人・防災訓練・自主防災組織など）
- あなたの自主防災組織の取り組み事例
- こんな事で困っている、苦勞している点または質問 など

※掲載資料、写真データの提供もお願いします。

▽お問い合わせ、情報提供および本ニュースレターについてのご意見は、下記までお願いします。

愛媛県 県民環境部 防災局 危機管理課 防災対策係

kikikanri@pref.ehime.jp

▽愛媛県HPでの防災情報はこちら

えひめの防災・危機管理ホームページ↓

<http://www.pref.ehime.jp/bosai/index.html>

